

～目指す学校像～

明るく向上心をもった  
生徒を育てる学校

川角中学校

五つの達成目標

- 1 一時間一時間の「授業」を充実させます⇒学力の向上
- 2 「あいさつ」のできる生徒を育てます⇒相手を思いやる心の育成
- 3 すべての「時間」を守る生徒を育てます⇒規律ある態度の育成
- 4 「清掃」にしっかりと取り組む生徒を育てます⇒奉仕の心を育む
- 5 「部活動」に全力で取り組む生徒を育てます⇒気力・体力の向上

「授業」

毎月末に全校生徒が「自己評価カード」を記入し、それを学長が全て点検して、赤ペンでコメントを書いて、生徒に返しています。着々と生徒の意識の変容が見られる1年でした。

最重要課題である「学力の向上」をめざして、一時間一時間の「授業」を充実させる努力をしています。

国語・数学・英語を中心に実施しているチーム・ティーチングでは、個に合わせた学習指導の充実を心がけています。

体育の実技において、生徒が

自分で種目を選択できるシステムにするなど、魅力のある授業づくりを心がけています。

一昨年よりも昨年、昨年よりも今年、落ち着いて授業が受けられるようになりました。

「あいさつ」

心の扉を開く、人間関係づくりの第一歩として、「あいさつ」を大切に考えています。

毎週木曜日の登校時間帯に、全職員が校門付近に立って、登校してくる生徒に朝のあいさつをしています。

生徒会の生活委員会の生徒たちも一緒に「あいさつ運動」をしています。

「時間」

授業の始まりや給食・清掃の取りかかりなどで、「時間」を意識して、ときばきと動ける生徒を育てたいと考えています。

二月に二年生が京都・奈良へ修学旅行に出かけましたが、二泊三日の慌ただしいスケジュールのなかで、集合時間に遅れる生徒もなく、予定どおり、もしくは予定よりも早め早めに行動でき、次の行動への余裕が生まれました。

「清掃」

一生懸命に取り組む生徒と、いやいやながら取り組む生徒との差がよく分かるのが「清掃」です。本校では、毎月末の自己評価活動により、清掃を大切に考える生徒が増えてきています。

生徒会の美化委員会では、「教室美化コンクール」を実施して、優秀なクラスを表彰するなど、美化意識を高めるように工夫しています。

「部活動」

朝早くから夕方遅くまで、また、休日も休みなく、「部活動」に明け暮れる生徒の多いのが中学校生活ですが、好きで選んだ部活動を3年間一生懸命に活動する生徒が多いのは、本校の自慢です。

部活動をとおして、生徒たちの人間形成に計り知れない成果があると感じています。

「学校行事」

以上の「五つの達成目標」の取組以外にも、川角中学校には、生徒を育てる魅力的な学校行事が数々あります。

なかでも、体育祭、合唱コンクール、校内マラソン大会の三大行事では、一生懸命に活躍する生徒たちの姿にたくさん感動が生まれました。

自ら進んで行事に取り組む生徒たちは、実に「いい顔」をしている。そんな「いい顔」がたくさん見られる川角中学校です。



体育祭